＊2021年1月改訂（第4版）
2017年9月改訂（第3版）（新記載要領に基づく改訂）

届出番号　13B1X00206000296

機械器具（24）知覚検査又は運動機能検査用器具

一般医療機器　体表面筋電計電極　11441001

誘発脳波用皿電極　NE-136B

【禁忌・禁止】

1. 併用医療機器［相互作用の項参照］

＊（1）磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）［誘導起電力により局部的な発熱で患者が熱傷を負うことがあります。］

【形状・構造及び原理等】

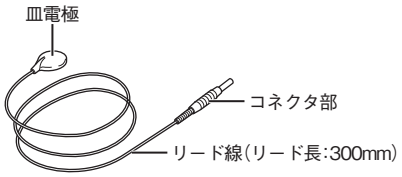
1. 概要

本品は、筋電図・誘発電位検査で導出用皿電極および、刺激用皿電極として使用します。

2. 構成

名　称		数　量
（1）	誘発脳波用電極　NE-136B	1 （3本／梱包）

3. 外観形状および寸法



本品には以下のようなシンボルマークが使用されています。
シンボルマークが示す名称および意味は、下表のとおりです。

シンボルマーク	名称・意味
CE	CEマーク
＊ MD	医療機器（欧州連合の法令要求マーク）

4. 原材料

コネクタ部　：ABS、PVC
リード線　：PVC
皿電極　：銀／塩化銀、ポリエチレン

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

本品は、体表面において、筋肉又は神経組織内の生体電気信号を検知あるいは組織に電流を流すために用いる導体をいいます。

【使用方法等】

1. 使用方法

（1）装着方法

1）装着部位を決定する
各検査における電極の装着位置を決定します。

2）装着部位の汚れを取る
電極装着部の皮膚および毛髪のつけ根をアルコールを含ませた綿でよくこすり、脂肪分を浮かせてから乾いたガーゼで拭き取ります。

3）ペーストを塗る
ペースト（エレフィックス：日本光電製）を直径10mm以下の範囲ですり込むように塗ります。このとき塗布面をあまり拡げないようにしてください。

4）電極を装着する
電極にペーストを厚さ1mmくらい盛り上がる程度にのせ、接着面に貼り合わせるように装着します。

5）電極を固定する
さらに薄い脱脂綿の小片で電極を覆い、軽く周りを押さえます。また電極の固定にはサージカルテープなどを用います。

6）装置に接続する
電極のコネクタを使用する装置の電極接続箱や電極中継コードに接続します。

※本品と組み合わせて使用可能な医療機器は、以下の認証品があります。製造販売業者はすべて日本光電工業株式会社です。

販売名		認証番号
1）	筋電図・誘発電位検査装置 MEB-2300シリーズ　ニューロパック X1	221ADBZX00003000
2）	神経機能検査装置 MEE-1200シリーズ　ニューロマスター	219AHBZX00006000

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

（1）傷および炎症のある部位に装着しないでください。

（2）リード線を引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。断線の原因となります。

（3）刺激用電極として長時間使用する場合、定期的に電極のペーストを確認してください。電気刺激を長時間続けると、電極のペーストが乾きがちになるため、そのまま刺激を続けると刺激部位が発熱し熱傷を生じることがあります。

【使用上の注意】

1. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

（1）併用禁忌（併用しないこと）

医薬品・医療機器の名称等（一般的名称/一般名・販売名）	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
1）　磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）	MRI検査を行うときは、患者に装着されている電極を取り外すこと	誘導起電力により局部的な発熱で患者が熱傷を負うことがある

（2）併用注意（併用に注意すること）

1）除細動器

① 除細動を行うとき周囲の人は、患者および患者に接続されている装置やコード類には触れないでください。放電エネルギにより電撃を受けます。

② 除細動を行うとき、♥または↑のマークのないコネクタ部に接続されたトランスデューサや電極は、患者から取り外してください。放電エネルギで操作者が電撃を受けることがあります。

0654-901448E

③ 除細動を行うときは、患者の胸部に装着した電極および貼付してある薬剤を取り除いてください。除細動器のパドルがこれらの物に直接触れると、除細動の効果が減少します。また放電エネルギによりその部位で熱傷を生じます。

2) 電気手術器(電気メス)

① 電気メスと併用する場合は、電気メスの対極板の全面積を適切に装着してください。装着が不適切な場合、電気メスの電流が電極に流れ、電極装着部に熱傷を生じます。詳細は、電気メスの取扱説明書の指示に従ってください。

② 電気メスと併用する場合は、電気メスの刃先と対極板から充分距離を置いた位置に電極を装着してください。電気メスの刃先と対極板を結ぶ高周波電流経路の近くにも電極を装着しないでください。充分な距離を取れない電極が装着されている場合、電気メス使用時には電極を電極接続箱から取り外してください。長時間のモニタリングを行う場合、電極を定期的に確認してください。電気メスの刃先と電極の距離が近いと、電気メスの電流が電極に流れ、熱傷を生じます。

【保管方法及び有効期間等】

1. 耐用期間

本品は消耗品です。

※開封時に傷、破損があった場合、材料に変質が見られた場合は、無償交換いたします。

【保守・点検に係る事項】

1. 清掃・消毒・滅菌

(1) 清掃

使用後はすみやかに洗浄してください。使用後に洗浄せずに放置するとペーストが固まり、電極性能が劣化します。

1) 水またはぬるま湯で電極などに付着したペーストを洗い流します。また電極に油膜ができると波形が歪むことがあります。消毒用エタノール(日本薬局方基準を満たすもの。濃度:15℃でエタノール76.9～81.4vol%)または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で油膜を落としてください。

2) 水分をよく拭き取り、電極表面や接続端子を酒精綿で清掃した後、乾燥させます。

(2) 消毒

以下の消毒剤などを含ませた柔らかい布できれいに拭きます。
文中の®マークは、各社の登録商標です。

1) グルタルアルデヒド®.....2%
2) 塩酸アルキジアミノエチルグリシン®.....0.5%
3) 塩化ベンザルコニウム®.....0.2%
4) 塩化ベンゼトニウム®.....0.2%
5) グルコン酸クロルヘキシジン®.....0.5%

(3) 清掃・消毒・滅菌に関する注意事項

1) 滅菌は行わないでください。
2) 指定の消毒剤以外による清掃・消毒は行わないでください。
3) 熱湯や塩素系漂白剤で清掃しないでください。
4) 消毒剤は正しい濃度で使用してください。
5) スプレーなどで消毒を行う場合は、スプレーを吹き付けた後にそのまま放置せず、布などで拭き取ってください。
6) 次亜塩素酸による消毒は行わないでください。
7) シンナー、アセトンなどの有機溶剤や漂白剤は、表面の塗装や樹脂部品を傷めますので絶対に使用しないでください。
8) 紫外線照射およびオゾンによる滅菌・消毒は行わないでください。

2. 点検

(1) 電極リード線の断線チェックはテスターでも行えます。

(2) 電極の先端とコネクタの金属部分にテスターをあてて導通をチェックします。

(3) 使用時に不良と思われた電極は、テスターなどでチェックして、断線などが考えられる場合は廃棄してください。修理はできません。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 日本光電工業株式会社
電話番号: 03-5996-8000(代表)

日本光電

日本光電工業株式会社
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
03-5996-8000(代表) Fax 03-5996-8091
https://www.nihonkohden.co.jp/